

自主的な学習の振り返りにおけるICT活用

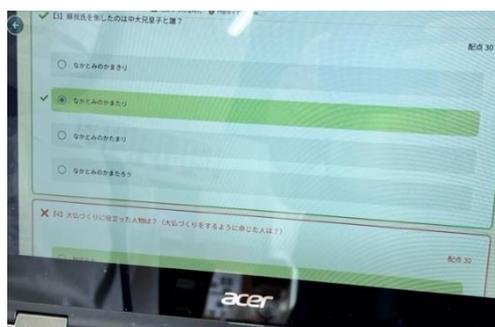
【内容】単元の復習としてのロイロノートの活用

【使用アプリ】ロイロノート、デジタル教科書 など

【事例紹介】

6年 社会科 歴史分野 「貴族の暮らし」までの復習

- ① 復習範囲の確認 教科書・資料集のページを伝える。
- ② ロイロノートの操作方法 問題の作り方を教える。
- ③ 問題づくり 20分間
- ④ 提出箱に提出 問題をみんなで解くために、提出箱に問題を集める。
- ⑤ 問題にトライ！ 一斉型（ゲームモード）・個別型で問題に取り組み、復習する。



個別型



一斉型（ゲームモード）

良い点

- ・ それぞれで作成した問題を個別でも、全体でも解くことができる！
- ・ 個別にすることができるので、自分のペースで復習することができる！
- ・ 教師が問題を確認して、全体で取り組みたい問題があれば一斉型で取り組める！

（その場合は、提出箱の中から該当児童のカードを選び「生徒発表」を押す。該当児童は画面上の「全員で解答（ゲームモード）」を選択する。）

【終わりに】

今回は社会科の歴史分野について、復習問題を児童に作問させた。教科書や資料集をよく読むだけでなく、インターネットでも情報を集めている姿が見られた。ゲームモードはKahootとよく似ており、Kahootの方が詳しい設定ができる。（得点、制限時間など）しかし、ロイロノートの方が上記しているように、個別に問題に取り組むことができることがとても良いと感じた。学習支援ソフトのそれぞれの長所を把握して、活用していくことが大切だと考える。



☆教育委員会指導主事より☆

ロイロノートを活用し、授業の形態を広げる取組の報告です。自分たちで作った問題に楽しそうにチャレンジしている子どもたちの姿が想像できますね。作問の際にインターネットを活用している児童がいることがポイントで、知りたいことを自分で調べる経験は、自己調整力を育むためのよいきっかけになっているのではないのでしょうか。そして何よりも、作る側も、とても生き生きと取り組める素敵な学習活動の報告でした。ありがとうございました。